

WITH YOU

2023年
春号
No.50

男女共同参画社会を考える情報誌 “ウイズ・ユー”

性について知っていますか？

【特集】P2~5

イマドキの性教育/
性のあり方の多様性を知ろう



【記事】

P6 女性活躍企業

「えるばし」認定企業の取り組み
公益財団法人シルバーリハビリテーション協会

P7 キラッと☆スマイル八戸ナビ

社会福祉法人友の会
特別養護老人ホームほつとハウス

武石真奈美さん

P8 ドリーム～夢を描こう



八戸市男女共同参画シンボルマーク

イマドキの性教育

Talking About Sexuality
「恥ずかしいもの」「男女別に行う秘密めいた授業」…。
そんな性教育のイメージはもう古い！ 世界的には人権の基本となり、
幸福な人生を選び取るために重要な教育と捉えられているのです。

人間関係養う
前向きな教育へ

あおもり女性ヘルスケア研究所
▼ 豊尾所長

性のこと

世界では
広がる
包括的性教育

多くの国で性教育の指針としているのが、ユネスコの「国際セクシュアリティ教育ガイドンス」です。生殖や性器のことだけでなく、人権教育を基盤にした幅広い内容を学ぶ「包括的性教育」が示されており、人間関係やジェンダーなど、8つの項目(キーコンセプト)を学びます。学び始めの年齢はなんと5歳！ 幼児期から発達段階に応じ、繰り返し学習することに重点を置いています。



日本の性教育は、戦後の「純潔教育」から始まり、予期せぬ妊娠や性感染症の予防に重点が置かれてきました。近年、包括的性教育を根底に「自分の心と体を大切にしよう」というポジティブな風潮になつたことは喜ばしい変化です。

今はネットが普及し、性的なコンテンツに容易にアクセスできますが、それらが正しいとは限りません。思春期の子どもたちが誤った判断で傷つかないよう、正しい知識を得ることが重要です。

しかし、日本では学習指導要領に「歯止め規定」があり、中学校では性交や避妊を教えないなどの制約があります。性教育に対するバッシングも度々起り、現場の萎縮につながりました。子どもたちに本当に必要な情報を受けられるのは、医師や助産師などの医療の専門家です。青森県は40年以上前から、すべての県立高校で産婦人科医が出席する前授業を行う独自事業を行っています。

避妊薬のピルで月経をコントロールできることや、性感染症は治療できることを含め、科学に基づく講演を続けてきたことで、教員や保護者に「性教育を行うことが当然」という共通認識が生まれ、取り組みは私立高校や中学校などにも広がっています。性教育は「ライフスキル教育」とも呼ばれ、人対人の関係性を育む重要な教育です。医師と教員、保護者が連携し、包括的性教育を体系的に展開することが望ましく、先進地の青森県にはその下地があると言えるでしょう。

全国では 新年度から 「生命(いのち)の安全教育」

子どもたちを性暴力の被害者、加害者、傍観者にしないため、国は2023年4月から、全国の小中高校や特別支援学校で「生命(いのち)の安全教育」をスタートします。すでに教材と指導の手引きを公表しており、プライベートゾーン(水着で隠れる勝手に見たり触ったりしてはいけない部分)や、他者との適切な距離感などについて、発達段階に応じて学ぶこととされています。

講演を聴いた八戸市内の生徒の感想

- 中2女子
性的接触は遊び心で簡単にして良いことではなく、覚悟や責任を持つ大人になつてからするべきだと思いました。
- 中3女子
性別に関係なく人を愛することは素敵なことで、LGBTQの人があいても受け入れ、応援したいです。
- 中3男子
女性は男性より大変な思いをしていると再確認しました。女性を思いやることが大事だと思いました。

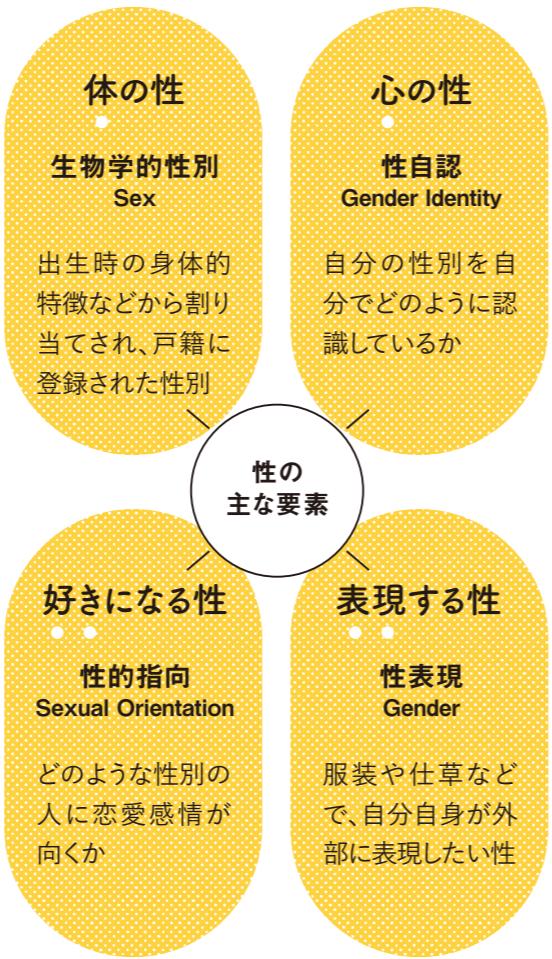
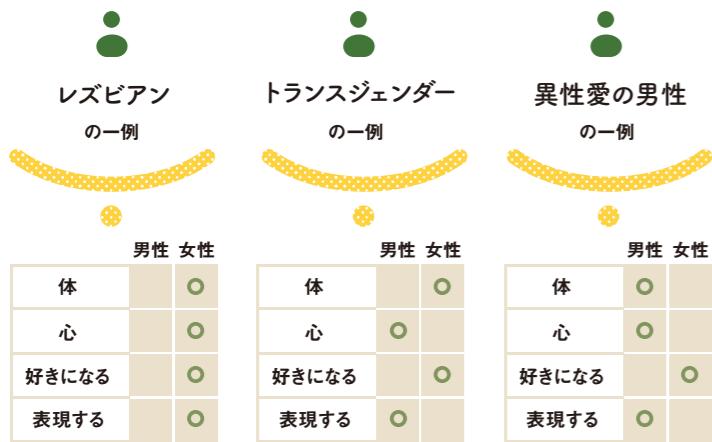


八戸市では2002年度から、産婦人科医らが中学校で性に対する正しい知識を広める「いのちを育む教育アドバイザー事業」を行っています。年1回出前授業を行い、思春期のこころとから、性感染症や避妊、異性の尊重や多様な性などについて講演します。包括的性教育のキーコンセプトにも通じる内容で、自分や他者の命を大切にする意識の向上につながっています。

八戸では
20年続く
いのちの授業

みんな違う 多様な性のあり方

私たちが持っている性のあり方は多様で、「男性」「女性」の二つだけに分けられるものではありません。主に四つの要素の組み合わせから考えることができます。

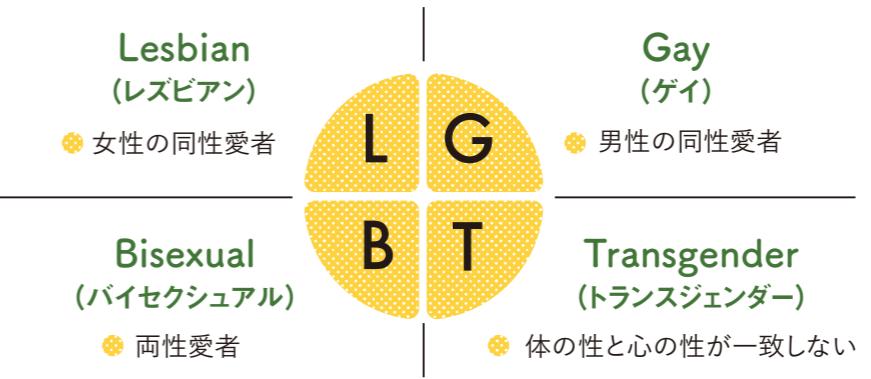


2022年開始 青森県パートナーシップ宣誓制度

一方または双方が性的少数者である方々が、お互いを人生のパートナーとし、日常生活で協力し合うことを約束する「パートナーシップ宣誓」を行うことで、県が2人の関係性を証明する「パートナーシップ宣誓書受領証」を

交付します。それにより県行政サービスのうち、県営住宅への入居申し込みとし、県立病院でのパートナーの治療や検査への同意などが可能になります。23年2月から、オンラインで宣誓手続きができるようになりました。

八戸市の行政サービス利用にも
八戸市では同制度の受領証を提示すると市営住宅の入居申し込みができるほか、市営霊園の申し込みと承継、火災時の罹災証明書、救急搬送証明書の交付がスムーズになります。



※そのほか、「Questioning」(クエスチョニング/性自認や性的指向が明確ではない)、「Asexual」(アセクシュアル/他者に性的関心を抱かない)など、さまざまな性的少数者がいます。

「LGBT+」とは、性的少数者（性的マイノリティ）の総称の一つです。近年、ニュースやインターネットなどを通して、言葉そのものの認知度は上がっていきます。その反面「言葉自体はよく聞くけど、身近に当事者がいない」と感じている人もいるのではないかと思う。しかし当事者は、あなたのすぐそばで、生きづらさを抱えながら暮らしているかもしれません。誰もが自分らしく生きることができると指して、一人一人が多様な性のあり方を知り、お互いの違いを認め合いましょう。

「性のあり方」の多様性を知ろう

みんなが自分らしく生きるために



2022年開始 SOGI (ソジ) とは

「SOGI」は、すべての人が持つ性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)を表す言葉です。SOGIに関する差別的な言動、暴力やいじめ、からかい、望まない性別での生活の強要、許可なく暴露

するアウティングなどを「SOGIハラスメント」(SOGIハラ)といい、2022年からすべての企業に職場でのSOGIハラ防止策が義務付けられています。

「性的マイノリティ」とは、性のあり方（セクシュアリティ）が、多数派である異性愛の男性・女性とは異なる人たちのことをいいます。同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー、クエスチョニングなど、性のあり方は多様です。性的指向や性自認は目には見えませんし、本人の意思で自由に変えられるものでもありません。

※全国の20～59歳における性的マイノリティの割合は、およそ11人に1人というデータもあります。決して特別な存在ではなく、普段接する家族や友人、同僚、クラスメートの中にもいるかもしれません。

1人というデータもあります。決して特別な存在ではなく、普段接する家族や友人、同僚、クラスメートの中にもいるかもしれません。しかし、周囲からの偏見や孤立を恐れ、自身の性のあり方を堂々と伝えることができない当事者は、いまだに多いのが現状です。

多様なのは自然なこと

お互いを尊重するために大切なことは、より多くの人が「性のあり方が多様なのは自然なこと」と認識することです。

「同性愛はおかしい」と性的マイノリティを否定したり、「男らしく」「女らしく」「恋愛は異性とするべきだ」などという価値観を前に提した会話をしたりしてはいませんか。あからさまな差別をしないことはもちろんですが、何気ない会話の中で誰かを傷付けてしまうことがないよう、少しだけでも想像力を働かせてみてください。

尊重し合える社会に

一人一人が自分の性をどう生きるか。それは周りが決めることがありません。多様な性のあり方を知り、お互いを尊重し合うことで、誰もが自分らしく生き、活躍できる社会をつくっていきましょう。

相談先

当事者はもちろん、当事者の家族など身近な人からの相談に秘密厳守で対応します。
**よりそいホットライン
0120-279-338**

(24時間通話無料／携帯電話、PHS可)
岩手県、宮城県、福島県は連絡先が異なります。

※ガイドナンスが流れた後、4を押して下さい。セクシュアルマイノリティ専門ラインにつながります。



およそ11人に1人

※電通ダイバーシティ・ラボ「LGBTQ+調査2020」

キャリアアップを

積極的に支援

同法人は八戸市内を中心、病院、健診施設、介護施設、看護学校を運営しています。22年11月末現在、全職員数795人中、女性職員は74%の591人。看護師、介護福祉士、医療事務など多様な職種で活躍しています。

えるぼしの認定取得に取り組んだ理由について、田中さんは「医療・福祉系の仕事は『過酷で労働時間が長い』というイメージがありますが、業務効率化などを通して女性が安心して長く働ける環境を整え、その実績を数値化して外部評価を受けたいと考えました」と話します。

「えるぼし」は、女性活躍推進法に基づく行動計画の策定・届出行った上で一定の基準を満たした企業を、「女性活躍推進企業」として認定する制度です。八戸市テーション協会は2021年、5つの認定段階を全て満たす「えるぼし」の3段階目を取得しました。女性が多い医療機関で、やりがいを感じながら長く働き続けられるための取り組みについて、同法人理事長の田中由紀子さん(49)に伺いました。

同法人では従来から、就労時間や勤務地など、ライフステージに合わせて柔軟な働き方を選ぶこ

とができる体制が整っています。その中でも、賞与などの算定方法をフルタイムの正職員と同様に扱う「短時間正職員制度」は、家庭で育児や介護に携わっている職員が活用しています。また、希望する臨時職員は正職員へ転換できる体制も整えています。

それに加えて、認定看護師や認定・専門理学療法士などの専門資格取得に向けた費用を補助することで、キャリアアップを積極的に支援しています。

女性活躍企業

えるぼし
認定企業の取り組み

公益財団法人
シルバーリハビリテーション協会
理事長
田中由紀子さん



女性活躍推進法

常時雇用する労働者が101人以上の企業は以下の項目が義務付けられています。

- 自社の女性の活躍に関する状況把握、課題分析
- 自社の課題に基づいた目標の設定と、具体的な取組内容を盛り込んだ「一般事業主行動計画」(行動計画)の策定、社内周知、公表
- 行動計画を策定した旨の労働局への届出
- 「女性の活躍推進企業データベース」での、自社の女性活躍に関する情報の公表

えるぼし認定

女性活躍推進法に基づき、一定の基準を満たし、女性の活躍推進に関する取り組みが優良な事業主を認定する制度。5つの評価項目(採用、継続就業、労働時間等の働き方、女性管理職比率、多様なキャリアコース)のうち、基準を満たした項目数に応じて取得できる段階が決まっています。



介護の現場を支える人材を育成

社会福祉法人友の会
特別養護老人ホーム ほつとハウス 介護主任 武石真奈美さん(48歳)
※2023年3月時点



★ 何でも相談できる職場

管理職として介護職員の統括を担っています。その業務は、シフトの調整や他職種との連絡、法人内施設との情報共有など、実にさまざま。現場がメインだった頃と比べて、より多方面に目を向けることが求められるようになります。

★ 新たな自分を発見

アットホームな社風が、働きやすさにつながっています。「困り事があった時も、部署や職種の垣根を越えて話ができます」と武石さん。自身も、部下に何でも相談してもらえるような環境づくりを心掛けています。

★ 新たな自分を発見

プライベートでは、昨年からソロキャンプを始めました。きっかけは、子育てが一段落したこと。「今春、一人息子が進学で家を離れるので、寂しくならないように」と笑います。

仕事でやりがいを感じるのは、サポートしてきた新人が自立した時。チームの中で力を発揮している姿を見るのは、何物にも代え難い喜びです。「仕事が楽しい」と話してくれたり、福祉の未来や目標を語ってくれたりした時はうれしいですね」としみじみ語ります。

将来的には利用者さんと接する現場で、これまでに培ってきたスキルを発揮したいと考えています。「縁の下の力持ち」として、施設を支えていくつもりです。

最初の頃は張り切り過ぎて、疲れてしまったそうですが、今は自然の中でのんびりと過ごせるようになりました。仕事柄、人と関わることの多い武石さん。「私って、一人でいるのも好きなんだ」と新たな発見があつたそうですね。

★ 仲間の成長が喜び

★ 社会福祉法人友の会
介護事業(特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス)を展開し、一人一人に寄り添うサービスを提供している。2020年、あおもり働き方改革推進企業に認定。従業員数は107名(正職員81名)。



八戸市からのお知らせ

あなたの声を

「まちづくり」に反映させてみませんか?

公募・登録制度に関する問い合わせ

八戸市 総務部 行政管理課

TEL:0178-43-2150 / FAX:0178-45-2077
MAIL:gyosei@city.hachinohe.aomori.jp
市ホームページ内で「附属機関 委員公募」を検索

附属機関の委員を募集!

同法人では、衛生委員会や「職場満足度調査」などでさまざま意見や課題を基に実施目標を立て、より働きやすく、そして男女が共に協力し合いながら活躍できる職場づくりに取り組んでいます。

「働きがいのある職場をみんなでつくることで、一人一人が当法人の基本理念であるホスピタル精神を持ち、地域の皆さんの健康に貢献できる組織でありたいです」と、田中さんは意欲を見せていました。

八戸市では、重要な施策やまちづくりの仕組みなどを決定する場合、市民や関係者、専門家などで構成する会議を開催し、市民の皆さんとともに検討を進めています。また、より幅広い意見を反映させるため、委員の公募を実施しています。

公募情報の詳しいことは、募集時期に合わせて広報はちのへや市ホームページなどでお知らせするほか、「公募委員候補者登録制度」の登録を受けた方には、直接メールなどで情報提供を行っておりますので、ぜひご活用ください。

皆さんの積極的なご応募をお待ちしています!

あなたがかなえたい夢は

何ですかー?

これから時代を担う子

どもは、とても大切な存在。

今、自分の未来をどう思い

描いているのでしょうか。

八戸市に住む子どもたち

に、将来なりたい職業や理

想の姿について、一言書きし

てもらいました。

子どもたちの
笑顔を守る
大人になります

一人でも
多くの命を救える
医師

サッカーに
関係する仕事が
したい!!

けいきゅうの
うんじゅう

あらやひな
荒谷姫己さん(高2)

弟や妹のお世話をしている時が楽しくて、保育士になりたいと思いました。優しくて、笑顔がすてきな保育士を目指して、専門の学科で勉強に励んでいます。

おおしたかずき
大下航輝さん(中3)

コロナ禍で医師の手が回らざる、救えるはずの命が救えないという現状を知りました。普段から困っている人がいたら、自分から行動するように心掛けています。

きむらさや
木村紗優さん(小6)

小2からサッカーを始めて、今は部活動で頑張っています。サッカーに関するお仕事はいろいろありそうなので、これから調べてみたいのです。

たけほらたかね
竹洞考兼ちゃん(年長)

YouTubeで電車が走るのをたくさん見ているよ。その中でも、速くてかっこいい京急の電車が大好き!いつか家族みんなで乗ってみたい。

※学年は2023年3月現在

ドリーム～夢を描こう
Dream

男女共同参画社会を考える情報誌 **WITH YOU** (ウィズ・ユー)

編集=デーリー東北新聞社

発行=八戸市

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号
電話 0178(43)9217 (市民連携推進課)

編集スタッフ

田名部瑠衣 田村 祐子
佐々木 萌 野田 圭佑

編集後記：青森県での産婦人科校医の出前授業は、当時相次いでいた10代の妊娠や売春に危機感を持った県医師会が提案して実現したそうです。自分の心と体を大切にすることが、周囲の人間を大切にし、円滑な人間関係を築くことにつながる。性教育の本質を知り、必要性を実感しました。(田村)